

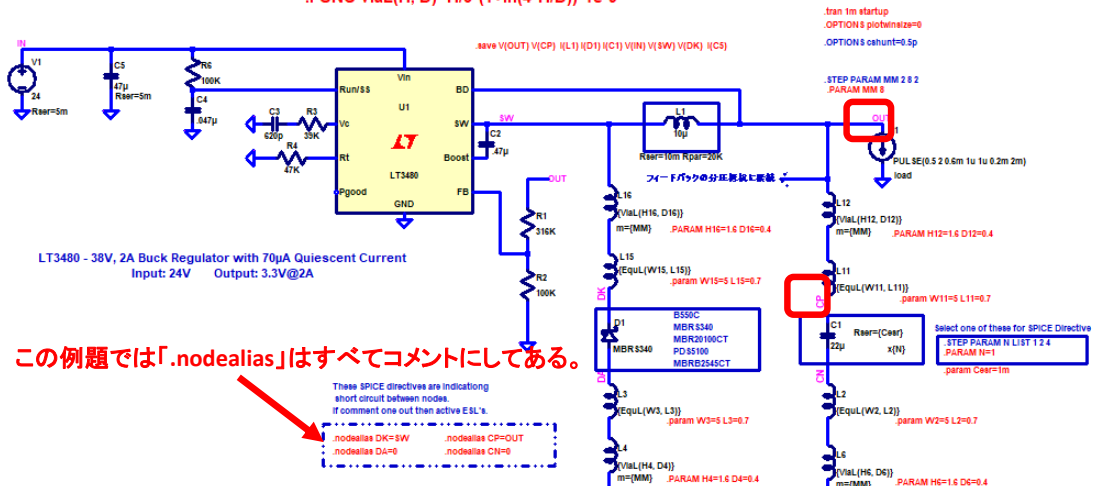
# .NODEALIAS を使って、2つのノードをショートさせる。

回路検討をしているとき、ノード間にある要素を「無し(ショート)」にしたい場合に有効なコマンドが「.NODEALIAS」である。このコマンドは「.STEP」によって有効・無効の切り替えはできない。

.STEPで有効・無効の切り替えを近似的に行うには、ノード間を抵抗でつなぎ、その抵抗値を(たとえば)100TΩと1nΩで切り替える手法もある。

## .FUNCTION の解説で使った例題・・・LT3480降圧コンバータで寄生インダクタンスの部分をショートして確かめてみる

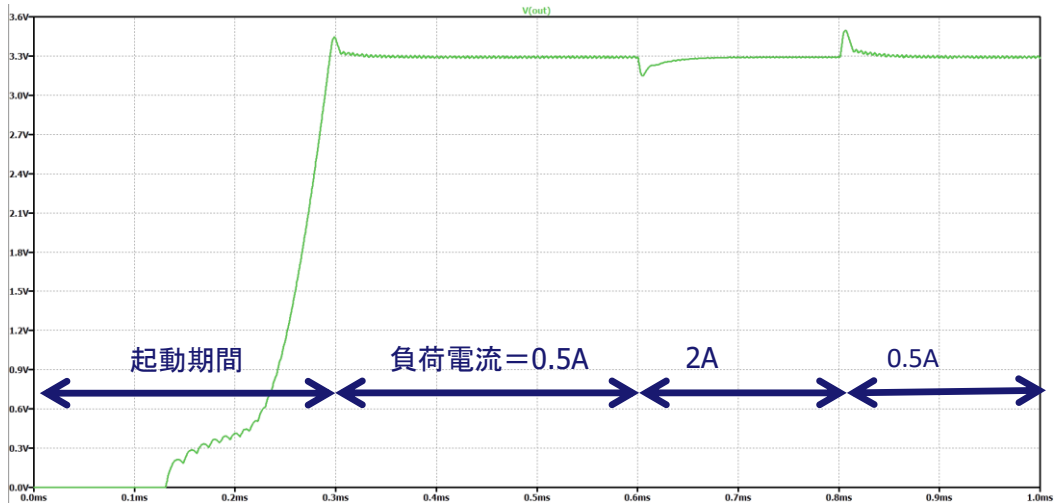
.FUNC EquL(W, L)=0.2\*(ln(2\*L/W)+0.5+0.22\*W/L)\*1e-9  
 .FUNC ViaL(H, D)=H/5\*(1+ln(4\*H/D))\*1e-9



この例題では「.nodealias」はすべてコメントにしてある。

プローブするときにアクティブなノード名は「.nodealias」の「=」記号の右側のノード名がラベルになる

## シミュレーション結果（負荷応答特性）



## FFT結果（2A区間のみ）（NODEALIAS を使って、PCBパターンとVIAのインダクタンس成分を取り除いた結果）

